

## 5. 東大雪地域整備基本方針

東大雪地域における整備基本方針を以下に示す。

なお、ぬかびら源泉郷地区及び十勝三股地区については、それぞれ後述の「5. ぬかびら源泉郷地区」、「6. 十勝三股地区」の項で、より具体的な基本方針、ゾーニング計画、動線計画、施設計画について記載する。

### ◆ 生態系・生物多様性の保全

- 雄大で奥深い原生的な自然環境を厳正に保全する。
- 雄大で奥深い山岳景観、森林景観、湖沼景観（糠平湖）等の優れた自然景観を保全する。
- 生態系に悪影響をもたらす外来種については、生物多様性の保全のため対策を推進する。
- かつての集落の形成等、人為的な影響により本来の植生が失われた地域での植生の復元に努める。

### ◆ ぬかびら源泉郷地区を拠点とした東大雪地域での一体的な活動の展開

- ぬかびら源泉郷地区を東大雪地域の玄関口・活動拠点として、十勝三股をはじめとする周辺地域を活動・体験フィールドとして位置付け、それぞれの特性に合わせた機能分担・相互連携を図り、ぬかびら源泉郷を拠点として東大雪地域の保全・活用、管理運営等の活動を行う。
- ぬかびら源泉郷地区で手軽に楽しめる自然探勝利用を充実させるとともに、ぬかびら源泉郷地区を宿泊・滞在拠点として、活動プログラム等ソフト対応を中心に東大雪地域全体で多様な利用者層のニーズを満たす自然体験・学習の場・機会の提供を図る。
- 東大雪の山々での登山も含め、ぬかびら源泉郷地区以外の東大雪地域のフィールドではより深い自然体験が可能である。体験の質を高めると同時に、自然環境の保全にも資する自然解説員を伴った利用を推進する。
- 自然環境の保全に支障のない範囲で、既存の地域資源（自然、歴史等）の魅力の再発見と活用を図る。
- 滞在型利用（ぬかびら源泉郷に宿泊・滞在、フィールドで活動・体験）を促進する。
- 関係機関、地元 NPO、旅館組合等の関係者をはじめ、多様な主体による連携を図る。

### ◆ 東大雪地域におけるこれまでの人と自然との関わりを知り、これからの関わり方について考え・行動する機会を提供する多様な活動プログラムの展開

- 森林開発の歴史と自然環境への影響を学ぶ。
- コンクリートアーチ橋をはじめとする旧国鉄士幌線の鉄道遺産との連携を図る。

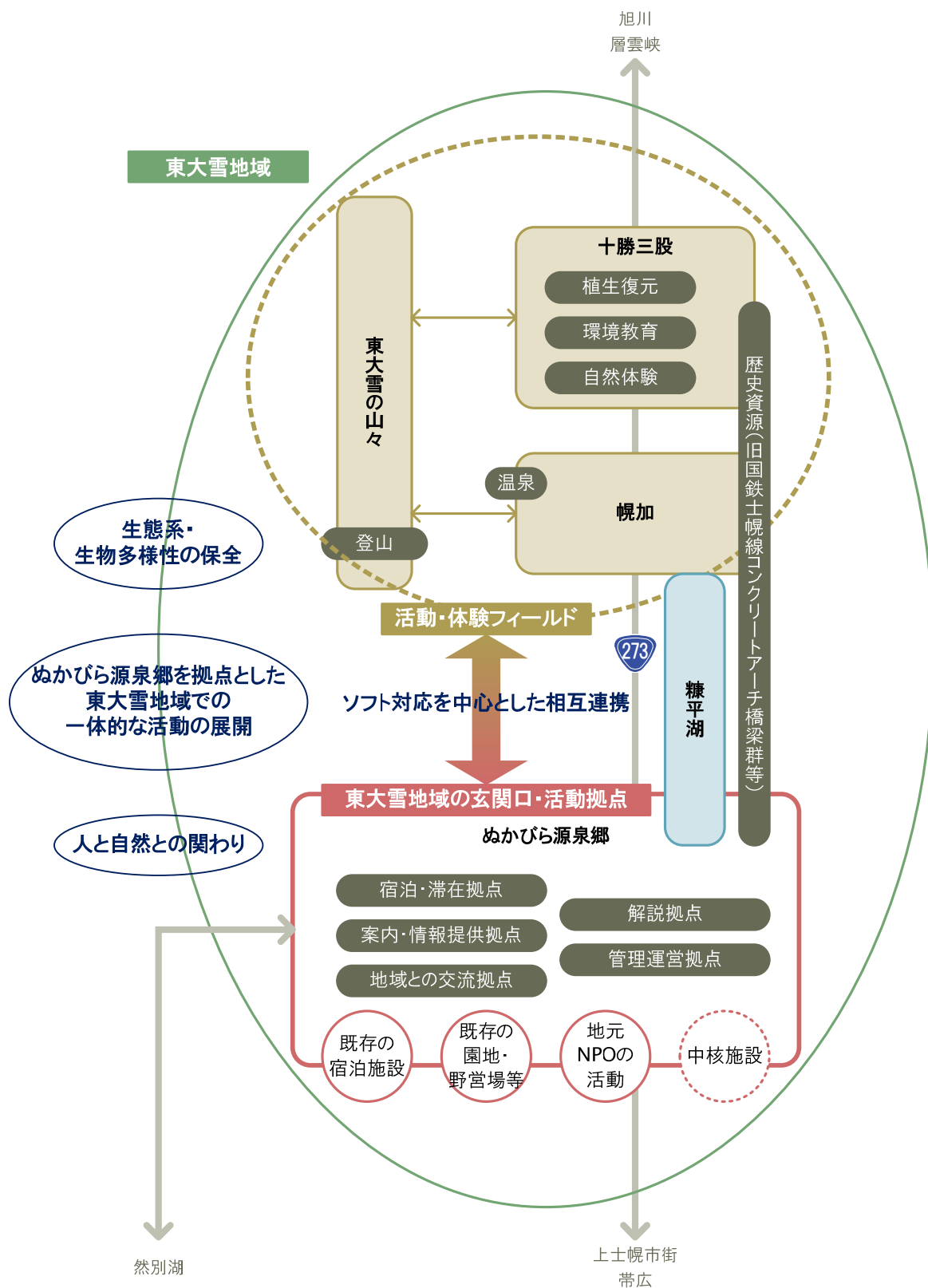


図 5-1 東大雪地域整備基本方針